立正大学

RISSHO UNIVERSITY GUIDEBOOK

- 心理学部
- 法学部
- 経営学部
- 経済学部
- 文学部
- 仏教学部
- データサイエンス学部
- 地球環境科学部
- 社会福祉学部



熊谷 Campus

熊谷キャンパスの気になるスポット

JR熊谷駅からバスで10分。東武東上線森林公園駅からバスで12分に位置する熊谷キャンパス。
豊かな自然が広がる約35万㎡もの敷地には、学修空間や運動競技場等の多彩な施設がそろいます。
なかでも常に学生でにぎわう、熊谷キャンパスの“気になる”スポットを紹介します。



Spot_1

アカデミックキューブ

敷地の中央に建つアカデミックキューブは、熊谷キャンパスのシンボルであり学びの拠点です。2010年に竣工された際、自然と建築が調和した景観が評価を受けて「2011年度グッドデザイン賞」を受賞しました。





建物の前には、休憩や待ち合わせにうってつけなベンチスペースがあります。高い木々がつくる木陰が気持ちよく、晴れた日には昼ごはんを食べる学生の姿も。



内部は吹き抜けになっており、自然光が差し込む近未来的な印象です。大小の講義室や自修スペース、インターネットカフェ等、多様な施設が集合しています。









2階にはレトロな雰囲気の喫茶店があり、オムライスやパスタ、パフェ等のスイーツを楽しめます。

Spot_2

ステラ

学生のお腹を満たす場所といえばステラ。1階のカフェテリア形式の食堂は、日替わりの定食等のメニューが充実しており、昼時には学生で大いににぎわいます。同じ階にはコンビニエンスストアもあります。

Spot_3

自然を感じる場所

敷地内には多くの樹木が生育し、一級河川の和田吉野川が流れています。川沿いのテラスからはキャンパスを広く見渡せ、桜並木を間近に見ることができます。四季折々の自然を楽しめる熊谷キャンパスらしいスポットです。







Spot_4

1号館　ゲートプラザ

1号館ゲートプラザは熊谷キャンパスの玄関口。長く伸びた廊下が印象的な建物です。鮮やかなグリーンとアルファベットを組み合わせた壁のグラフィックには、学園歌の歌詞が隠されています。

熊谷キャンパスの学生に聞きました

#運動ができる場所といえば？

本格的な設備の陸上競技場



人工芝のグラウンドと400mトラックがあります。陸上競技部の活動拠点です。



スポーツキューブで筋力アップ！



本格的なトレーニングマシーンがそろっているので、運動部にはうれしい施設です。

バスケができる多目的コート



放課後は多目的コートを使って、友達とバスケットボールでリフレッシュしています。

チームで白熱！球技専用コート



サッカー、野球、ラグビーの専用コートがあります。強化クラブのプレーは迫力満点です！





Students' Voice

新しい趣味にチャレンジ！ 一人暮らしを楽しんでいます

社会福祉学部 社会福祉学科
ソーシャルワークコース
栃木県立真岡女子高等学校出身

熊谷
一人暮らし編

#熊谷ライフスタイル

埼玉県北部に位置する熊谷市は、穏やかで自然が豊かな環境でありながら、
東京・新宿方面へ乗り換えなしでアクセスできます。都心に比べて家賃がリーズナブルな点も魅力です。

Schedule

- 7:30 起床
- 8:30 通学
- 9:00 授業
- 空きコマに勉強やサークルの練習
- 17:00 アルバイト
- 21:30 帰宅
- 23:00 就寝

▼ 授業スケジュール（2年次第2期）

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				地域福祉論Ⅱ		障害者福祉論Ⅱ
2			ソーシャルワーク実習指導ⅠA	福祉サービスの組織と経営Ⅱ		
3	児童福祉論Ⅱ	ソーシャルワーク演習ⅡG		高齢者福祉論Ⅱ		
4	ソーシャルワーク論Ⅱ	ソーシャルワーク論Ⅳ	精神医学Ⅱ			
5		公的扶助論Ⅱ		社会保障論Ⅱ		

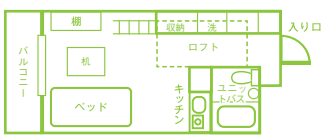
Favorite Spot



キャンパス内で気に入っているのはステラの食堂。友達とのランチのひとときが大学生活の楽しみの一つです。

Room Introduction

実家からは通学に時間がかかるため一人暮らしを開始。買い物やアルバイトへ通う効率を重視して、住居は駅の近くにしました。社会福祉分野での活躍をめざして勉強に励みながら、一人の自由な生活を楽しんでいます。



間取り	1K
家賃（1カ月）	32,000円（管理費3,000円）
通学時間	30分



一人暮らしを機にギターの練習を開始。品川キャンパスの仲間とバンドを組んで、初ライブに参加しました。

1 1号館　ゲートプラザ
2 2号館
3 3号館
4 6号館　子育て支援センターベアリス



5 8号館
6 9号館
7 ユニデンスA館（学生寮・短期宿泊施設）
8 ユニデンスB館（学生寮）
9 サハー（食堂）
10 図書館
11 立正大学博物館
12 17号館
13 キャリアサポートセンター
14 入試センター

15 19号館　アカデミックキューブ



16 RiLLFore（りるふぉれ）
17 20号館　スポーツキューブ
18 サークルボックス（部室）
19 ステラ（食堂・喫茶・コンビニエンスストア）
20 校内郵便局
21 インフォメーションセンター
22 バスターミナル
23 サッカー部寄宿舎
24 野球部・ラグビー部寄宿舎
25 パドマ（食堂）
26 アーチェリー場
27 弓道場

熊谷キャンパスの時間割

1時限	9：00～10：30
2時限	10：40～12：10
昼休み	12：10～12：50
3時限	12：50～14：20
4時限	14：30～16：00
5時限	16：10～17：40

※2022年度現在。

28 テニスコート・多目的コート



29 サッカー場
30 野球場
31 陸上競技場
32 ラグビー場
33 ユニデンスA・B館 専用駐車場
34 駐輪場・バイク置場
35 学生専用駐車場
36 特別養護老人ホーム「立正たちばなホーム」
37 石橋湛山先生之像

Kumagaya Map



空と地上から熊谷キャンパスを見てみよう！

熊谷キャンパス360°VRツアー



熊谷キャンパス

地球環境科学部

環境システム学科（生物・地球コース／気象・水文コース）／地理学科

さらに詳しい情報は学部ガイドまたは
地球環境科学部特設サイトをご覧ください。
ris-geo.jp/admission/



DATA 学部データ［2021年度現在］

学生数 821名

男女比 男性 678名 8:2 女性 143名

FACULTY OF GEO-ENVIRONMENTAL SCIENCE

地球環境科学部長からの招待状 MESSAGE

文理融合の学びでバランス感覚を培い「環境問題解決の水先案内人」となれ



地球環境科学部長
須田 知樹

いま、世界の環境問題に向き合う際に求められているのは、「自然科学的なものの見方」と「人文学・社会科学的なものの見方」の双方からアプローチすることです。例えば、野生動物や自然環境を守ろうとすると人間の営みは縮小しなければなりません。逆に人類の食料問題の解決のために耕作地を増やすと、野生動物や自然環境に影響を与えてしまいます。地球上では人間も生物も一緒に生きていくことが大切です。その落とし所を見つけるのは自然科学だけを学んだ人材でも、人文学・社会科学だけを学んだ人材でもありません。両方を修得した、「文理融合」のバランス感覚をもつ人材です。

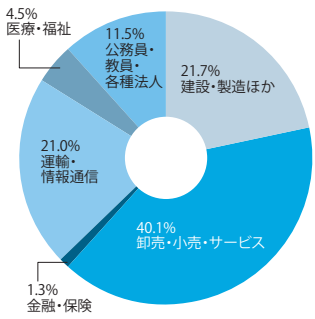
地球環境科学部では総合的な知識の積み重ねと、多彩で実践的なカリキュラムをとおして「文理融合」の学びを展開しています。多様な視点と幅広い視野を養い、「環境問題解決の水先案内人」たる力を培います。地球環境について学びたいみなさんはもちろん、社会や環境にアプローチする具体的な目標を見つけたい君、文系理系を超えて興味あることを追求したいあなた、学びを深め社会貢献したいという志ある人は、ぜひここに来て学んでください。

主な進路・就職先 FUTURE PATH

［2020年度実績］

就職率
90.8%

業種別就職先



建設・製造ほか→ホーチキ㈱、東芝ホームテクノ㈱、川崎地質㈱、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京㈱、㈱北弘電社、国土防災技術㈱、国際自動車㈱（kmグループ）、東電用地㈱

卸売・小売・サービス→イオンディライト㈱、日本環境クリアー㈱、エン・ジャパン㈱、日鉄鉱建材㈱、ナイス㈱、㈱ホウスイ、ウォルマート・ジャパン・ホールディングス㈱、オーケー㈱、㈱ロック・フィールド、生活協同組合コープみらい、㈱ノジマ、㈱ピーシーデポコーポレーション、㈱ヤマダホールディングス

金融・保険→佐野信用金庫、くまがや農業協同組合

運輸・情報通信→一般財団法人日本気象協会、㈱ウェザーニューズ、㈱ジャステック、富士ソフト㈱、㈱JTOWER、㈱パスコ、国際航業㈱、全日本空輸㈱、朝日航洋㈱、㈱はとバス、㈱丸和運輸機関、神奈川中央交通㈱、日本交通㈱

医療・福祉→新日本環境調査㈱

公務員・教員・各種法人→青森県庁、大船渡市役所、石岡市役所、つくばみらい市役所、熊谷市役所、草加市役所、北杜市役所、ときがわ町役場、毛呂山町役場、警視庁、埼玉県警察本部、独立行政法人水資源機構、陸上自衛隊自衛官候補生、航空自衛隊一般曹候補生

進学→立正大学大学院、東京大学大学院、総合研究大学院大学

※順不同

主なイベント

4月～
学生研究プロジェクト

本学部生を対象に、グループで取り組むフィールドワークに基づいた学生主体の研究に、各グループ最大20万円の助成を支給し、支援しています。



8・9月
環境システム学科 フィールドワーク実習

2年生はグループで関東近郊での調査を行い、3年生は研究室ごとに研究分野に沿った地域で実習に取り組み、卒業論文に必要な力を身につけます。



通年
地理学科地域連携・地域貢献プロジェクト

地域活性化（地域資源の発掘と活用、観光・交通マップの作成）や熊谷・日光・常総等における防災対策等、多様なテーマで活動します。





自然環境を体系的に理解し、環境問題の専門家をめざす

DEPARTMENT OF ENVIRONMENT SYSTEMS



地球環境科学部

環境システム学科

学びの内容 CONCEPT

5つの分野から環境科学を多角的に学ぶ

人類と生物の共存を考える「環境生物学」

人類がほかの生物や生態系に与える影響を明らかにし、人類と生物が共存するための方法を考えます。

学べるキーワード

動植物の保護・管理
生態系の保護
海洋生物

地圏環境を考える「環境地学」

固体地球表面の地形・地質的特徴はさまざまな要因で形成されます。その歴史を解明し地圏環境の管理や防災を考えます。

学べるキーワード

火山　# 地震
地形　# 地層
土壌　# 災害

大気現象を学ぶ「環境気象学」

天候は、人類やほかの生物の活動、水・地面の挙動に影響します。大気現象を科学的に理解し、環境問題を考えます。

学べるキーワード

気象モニタリング
ヒートアイランド現象
地球温暖化

水環境を考える「環境水文学」

水不足や水紛争、水質汚染等の問題が起こる現代、水環境や水質を科学的に理解しながら環境問題を考えます。

学べるキーワード

河川　# 地下水
水質汚染
湖沼

情報で環境問題解決をめざす「環境情報学」

自然的・社会的要素を含む広い視野を学び、地理情報システム（GIS）等による環境情報の整理・解析をとおして問題の解決策を考えます。

学べるキーワード

人工衛星での遠隔観測
コンピュータ解析
数理的アプローチ

授業 CLASS ▶セミナー



卒業研究に向けた準備を徹底的に。学術的な思考や技術を磨く

岩崎 望 教授
［担当講義、研究テーマ］
環境生態学

4年次の卒業研究に向け、自然や社会環境に関する研究テーマを検討し、文献調査を通じて科学的な考え方や研究に必要なスキルを修得。ほかの研究室と共同で実施することも多く、多角的な視点で分析する力や、社会に出てから必要となる共同作業への適応力も身につきます。



卒業研究の成果を地元の環境保全に生かしたい

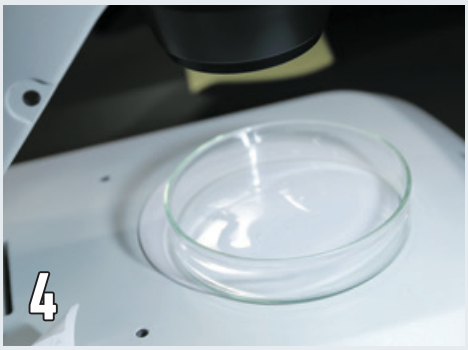
地球環境科学部
環境システム学科
生物・地球コース
東京都立小笠原高等学校出身

研究テーマは「小笠原産ウミガメのプラスチック誤食と食性」。マイクロプラスチック専門の向高先生、水文学専門の李先生の研究室と共同で研究しています。さまざまな角度の知見を得ることで、視野が広がり、自分の調査方法や分析に自信がもてるようになりました。この成果は将来、地元・小笠原の環境保全に役立てたいです。









1 実験の一連の流れを学修

実験の一連の流れを学ぶために、素材の準備から取り組みます。海洋生物が体内に取り込むマイクロプラスチックの実験では、シラスを研究対象にします。

2 有機物を薬品で溶かす

実験室でシラスを薬液に漬けて、有機物を溶かします。実験をとおして環境システム学科の充実した設備を活用することで、多様な実験機器の扱い方を学んでいきます。

3 マイクロプラスチックを抽出

仲間と協力して溶かしたものを篩でこし、マイクロプラスチックを抽出します。同じ分野に興味をもつ仲間と共同で取り組むことで、より内容を深めることができます。

4 顕微鏡で抽出した物質を観察

顕微鏡でマイクロプラスチックを確認します。実験のテーマは学生の関心に沿って決めるため、自分の研究内容にも応用し、内容を発展させていくことができます。

学科の学び方 CURRICULUM

多彩な授業で基礎・専門・応用を修得

多様な実験・実習科目と アドバンスト科目で専門性を高める

専門基礎科目に加え「環境気象学実習」「環境水文学実験」等の専門的な実験・実習、「リモートセンシング実習」「空間情報システム実習」等のコンピュータを利用した実習も開設。また、学修意欲と学力の高い学生のみを選抜した発展的科目「アドバンスト科目」を開設し、より高度な専門性をめざせます。

専門分野に応じた 多様なフィールドワークを体験

1年次の「学修の基礎II」では、富士山周辺で野外実習を行い、調査・研究の目的に応じた頭と眼と手足の動かし方を修得。2年次の「フィールドワーク」では、野外を舞台に、専門分野に応じたさまざまな調査方法を学ぶ等、多様なフィールドワークを用意しています。

設備が充実した施設で 研究技術を磨く

超微量元素分析が可能なクリーンルームや、気温・湿度・風向・風速・降水量といった基礎的データが連続観測されている気象観測施設等で研究を行います。

卒業基準単位数:126　教養的科目:28　専門科目:98

※2022年4月1日入学者の場合。

			1年次 **環境科学の基礎を学ぶ** 学びの土台となる数学、理科、情報の基礎を学修。各分野の概論で専門分野も深めます。	2年次 **さまざまな視点で専門科目を学修** 「専門基礎科目」では自然科学、複数の隣接する分野との関連、実社会との関係を学びます。	3年次 **卒業研究に向けスキルを磨く** 研究室で、各分野の専門的な調査方法やデータ処理手法、解析、考察の仕方等を学びます。	4年次 **4年間の集大成 卒業論文を執筆** テーマを決定し、卒業研究に取り組みます。教員の指導のもと、計画立案から調査、分析を行い論文を執筆します。
必修科目	生物・地球コース		◦生物と大地の科学 ◦環境生物学概論 ◦地圏環境学概論			
		気象・水文コース	◦環境調査の基礎および実習 ◦基礎数学　◦基礎物理学 ◦基礎化学　◦基礎生物学 ◦基礎地学　◦環境情報学概論	◦フィールドワーク ◦空間情報システムの基礎 ◦環境統計学	◦セミナーの基礎 ◦セミナー	◦卒業研究指導(卒業論文含む)
			◦気象と水の科学 ◦環境気象学概論 ◦環境水文学概論			
選択必修科目・選択科目	生物・地球コース		◦生態系の機能　◦植物と環境　◦動物と環境　◦環境生物学実習　◦環境地質学　◦環境地形学　◦固体地球環境化学　◦地圏環境学実習 ◦生物圏の歴史と人間活動　◦生物の多様性　◦生物間の相互作用　◦防災地圏環境学　◦固体地球物質環境学　◦環境同位体化学　◦環境分析化学			
		気象・水文コース	◦マップリーディング　◦地図と測量の科学　◦風土と人間生活　◦都市のアメニティ　◦自然災害のメカニズム　◦地球環境システム論 ◦ジオインフォマチックス　◦情報化社会と倫理　◦情報文化と知的所有権　◦リモートセンシング　◦環境経済学　◦環境関係法規 ◦地域環境行政　◦人間活動と物質循環Ⅰ(大気と水の循環)　◦人間活動と物質循環Ⅱ(生物生産と生物圏の物質循環) ◦人間活動と物質循環Ⅲ(人間活動と環境汚染)　◦環境統計学実習　◦環境情報処理実習　◦リモートセンシング実習 ◦物理学Ⅰ　◦物理学Ⅱ　◦物理学実験　◦化学Ⅰ　◦化学Ⅱ　◦化学実験 ◦生物学Ⅰ　◦生物学Ⅱ　◦生物学実験　◦地学Ⅰ　◦地学Ⅱ　◦地学実験　◦環境情報数学Ⅰ ◦マルチメディア表現技術　◦プログラミングの基礎(実習) ◦環境情報数学Ⅱ　◦環境情報データベース　◦画像情報処理の基礎　◦空間情報システム実習 ◦環境情報数学演習Ⅰ　◦環境情報数学演習Ⅱ　◦プログラミングの応用(実習) ◦熱帯圏の環境　◦氷雪圏の環境　◦乾燥圏の環境　◦環境保全活動実験　◦測量学および実習 ◦測量学実践実習　◦生物圏の保全　◦国際環境問題　◦第四紀環境変遷史　◦環境流体力学 ◦海洋環境学　◦情報化社会と職業　◦情報産業史　◦情報通信ネットワーク実習　◦情報通信ネットワーク特論　◦シミュレーション技術　◦土壌環境学　◦水資源と水利用 ◦環境化学実験　◦土壌環境学実験　◦環境生物学アドバンスト　◦地圏環境学アドバンスト　◦環境情報学アドバンスト　◦環境水文学アドバンスト　◦環境気象学アドバンスト			
			◦水文環境学　◦陸水環境学　◦環境水質化学　◦環境水文学実験　◦気候・気象学　◦総観気象学　◦大気大循環論　◦環境気象学実習 ◦水文環境モニタリング　◦水文環境シミュレーション　◦水文環境とその調査法　◦水質水文学　◦気候変動論　◦微気象学　◦大気環境モニタリング　◦大気環境シミュレーション ◦温暖化と酸性雨　◦都市大気環境			

※所属コースが指定する科目以外の科目を学ぶことでより広い視野を養うことができます。　※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。
※カリキュラムは変更される場合があります。

Focus on 科目

生物と大地の科学

生物や地学に関する身近な環境問題を題材に、自然科学と環境科学の共通点と相違点を理解します。ICT技術の有用性についても学修。環境科学への俯瞰的視点を修得します。

気象と水の科学

気象や水に関する身近な環境問題を題材に、自然科学から環境科学への橋渡しを図ります。気温や地球温暖化、河川と環境、地下水、水質汚染等を取り上げます。

環境保全活動実験

ベトナム南部で、枯葉剤散布やエビ養殖池・塩田開発で破壊されたマングローブ林を回復させる植樹や、生態系の調査を行います。他大学や現地の人とも交流します。

時間割モデル

［3年次 気象・水文コース］

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				温暖化と酸性雨		
2	環境情報 数学演習Ⅱ			気候・気象学	環境地形学	
3	生態系の機能	水文環境学			地球環境 システム論	
4		セミナー	キャリア開発 基礎講座Ⅲ	環境気象学 実習		
5	環境情報数学Ⅱ					
6						
7						

主として環境気象学を学ぶ学生の第1期の時間割モデルです。

卒業論文テーマ

- 海洋生物がオリンピック開催による人間活動の活発化にどう影響されるか
- 液状化による噴砂の地表面への噴出再現実験
- 台風接近時における熱中症搬送者数の実態
- ミネラルウォーターの水質と採水地の地域特性との関係
- LiDARによる樹木位置計測精度に関する研究
- 埼玉県におけるアライグマとタヌキの種間関係について
- 群馬県桐生川ダムが付着藻類と堆積物に与える影響
- 最近15年間における黒潮の流路変化が伊豆諸島の気候に及ぼす影響
- 茨城県北部に分布する多様な温泉の水質形成機構の解明
- 稲作農業におけるドローンの活用方法
- 遺伝子解析から見たカブトムシの国内移入の是非について
- 関東域における異常な温度発現の要因について
- 外食産業における食品ロスの削減に関する研究
- 大洗沖におけるイワシ類の食性に関する研究
- 地表面温度表示アプリケーションの構築と改良
- 湿地植生の移植に関する生態学的研究　　ほか

学科で身につく力　FUTURE

幅広い知識・視野と技術を養い環境問題に取り組む

幅広い視野と技術

環境問題を解決するために重要な、大気、水、大地、生物の個別理解と相互関係を理解する力を育み、幅広い視野と技術をもった「環境コーディネーター」を育成します。

高い情報処理能力

情報処理の基礎技術や、リモートセンシング、地理情報システム等の技術を修得。現代社会で不可欠なICTを活用する能力を培います。

環境の全体を見極める能力

環境計画の立案や環境アセスメントを行うための知識・方法等、社会科学的な素養を身につけ、社会と環境問題の関係を理解した上で問題解決する視点を育てます。

進路・将来像

環境コンサルタント関連企業／気象予報関連企業／地質調査関連企業／衛星データ解析関連企業／土木・建設関連企業／測量・不動産関連企業／化学・生物関連企業／コンピュータ関連企業／システムエンジニア／環境NGO・NPO／官公庁／各種公務員／中学校理科教諭／高等学校理科教諭／高等学校情報科教諭／学校図書館司書教諭／社会教育主事／図書館司書／社会福祉主事／博物館学芸員／大学院進学　等

詳しくはP.133へ

免許・資格

【地球環境専門職】
気象予報士[*1]　環境計量士[*1]
公害防止管理者[*1]
自然再生士[*1]　自然再生士補

【測量・技術専門職】
測量士[*1]　測量士補
技術士[*1]　技術士補[*1]

【コンピュータ専門職】
情報処理技術者[*1]
GIS学術士
システムアドミニストレータ[*1]

【教員免許】
中学校教諭一種免許状（理科）
高等学校教諭一種免許状（理科）
高等学校教諭一種免許状（情報）
学校図書館司書教諭

【行政職】
社会教育主事（任用資格）
社会福祉主事（任用資格）

【その他】
博物館学芸員（任用資格）
図書館司書

*1 は資格・検定試験に合格する必要があります。

詳しくはP.052～P.055へ

地域を多角的に分析し、問題解決の糸口をつかむ



DEPARTMENT OF GEOGRAPHY

地球環境科学部

地理学科



学びの内容 CONCEPT

人文・社会と自然が融合した3つの領域を学ぶ

人間活動と地域の関係を学ぶ「人文地理学」

まちづくり、産業、観光等をはじめとした、人間活動と地域の関わりを学びます。地域を理解するには、人口や経済、社会、文化等の構成要素を知る必要があります。地域とは何か、その成り立ちから学修し、地域の課題を探ります。

学べるキーワード

流通　# 交通　# 統計　# 首都圏
地域景観　# 観光資源　# 都市と農村
漁業・農業・工業地域
アジア・オセアニア
ヨーロッパ・アフリカ

自然の成り立ちを学ぶ「自然地理学」

地形、気候、水文、植生等、地理学を学ぶには、地域に関するあらゆる事象の把握が必要です。講義だけでなく実験・実習、野外でのフィールドワークをとおして、机上では見えてこない結論を導きます。

学べるキーワード

防災　# 地形学　# 気候学
水文学　# 自然計測　# 自然災害
ハザードマップ
エコツーリズム
自然環境とまちづくり

地理学の基礎を学ぶ「地図・GIS・測量」

地理学を学ぶための基礎的な知識やスキルを修得します。地理情報システム（GIS）の基本的な操作や、地図化および分析方法を学修。空間データに現地調査データを組み合わせる等、より実践的なスキルも身につけます。

学べるキーワード

GPS　# ドローン　# 測量技術
地図作成　# 地図の読み方
デジタル地図　# 地理情報科学
地図画像処理
フィールドワーク

授業 CLASS ▶地域の自然誌



複雑に絡み形成される自然情報から自ら考える力を養う

島津 弘 教授
［担当講義、研究テーマ］
自然地理学、河川地理学

複雑に絡み合う自然を先人たちはどう解き明かし、地域を作ってきたかを、検証によって「追体験」します。複数の知識の組み合わせが必要なことに気づき、俯瞰的・総合的見方を修得。受け身ではなく、自分で情報から何かを考え出せるようになっていくことを期待します。



知識と風景、知識と知識が相互に関連する面白さで広がる世界

地球環境科学部 地理学科
〔取材時〕

東京都私立日本放送協会学園高等学校出身
（2018年度よりNHK学園高等学校に名称変更）

授業では地域の自然誌をタイムリーな事象と関連づけて学ぶ機会が多く、自然環境への理解が深まります。また風景形成の過程も学ぶため、実際に景色を見た時の感動が増大。上高地の植生に関する授業で、自然と人間の相互作用から生まれる風景の面白さを感じました。さらにまだ訪れたことのない地域のさまざまな風景の成り立ちについても調べてみたいという好奇心が刺激されていきます。









1 タブレット端末を活用

地域と自然の関わりについて考察する、3年次以上を対象とした科目です。授業ではタブレット端末を、資料の収集や発表時の情報共有等に用いながら進行します。

2 グループで意見交換

武田信玄が築いた甲府盆地の「信玄堤」をテーマに、過去と現代の治水を比較・検証。グループでディスカッションし、結論をホワイトボードにまとめます。

3 わかりやすく伝える力を磨く

グループでまとめた意見は、スクリーンに投影して発表します。イラスト等の視覚的な表現に取り組むことで、わかりやすく伝える力を磨きます。

4 深く考察し創造力を培う

先人の考えや仲間の発言に触れ、多様な思考をたどることで考察が深まります。そうした経験は、卒業研究や社会で新たな発想を生み出す創造力を培います。

学科の学び方 CURRICULUM

充実した学修環境で多彩な知識・情報を吸収

幅広い分野を網羅した学びを多彩な教員陣がサポート

都市、まちづくり、観光、教育、農業、自然保護、環境問題といった幅広い分野を網羅。本当にやりたいことを多彩な教員陣がサポートします。学科独自の授業と連携したチュートリアル講座は専任教員が担当します。また、就職を見据えたキャリアアップ講座や教職支援等も、多様な分野で活躍する卒業生とともに応援します。

国内外のフィールドワークで学びの行動力を向上

1年次の「地理基礎巡検」では18コース、2・3年次では8つのテーマや地域からコースを選択可能です。必修の「地理学セミナー」では、地域と連携した観光まちづくりの提案や、防災・自然保護のための環境調査等を行います。また、海外フィールドワークで異文化を体感すると同時に、さまざまなテーマの現地調査をとおして、その国の姿を理解していきます。

タブレットやGIS環境、地図・資料が豊富にそろう最先端の環境で学ぶ

タブレットを活用した授業や反転授業、学部独自の整備されたGIS環境等、最先端の学修環境が整っています。また、本学科の90年以上にわたる長い歴史のなかで収集されてきた豊富な図書資料や地図資料を活用することができます。

卒業基準単位数:126　教養的科目:≧28　専門科目:≧78

※2022年4月1日入学者の場合。 ※教養的科目および専門科目の必要最低単位数以上を修得し、卒業基準単位数を充足します。

	1年次 **地理学と地図の基礎を修得** 「地理学では何を学ぶのか？」等、多彩な講義と実習をとおして、学修の意味と意義を考えます。	2年次 **地理学の専門領域を学ぶ** 地理学のさまざまな専門の基礎を学び、フィールドワークで地域調査を行うためのスキルを身につけます。	3年次 **専門性、応用力を向上させる** 発展的・応用的な地理学を修得し、地理学の専門家としての力をつけます。	4年次 **卒業研究に全ての学びを集約** 修得した知識や技術を駆使して卒業研究に着手。実地調査をもとにした分析を行い、研究成果について議論します。
必修科目	〈学科基礎科目〉 ◦基礎地図学および実習Ⅰ ◦基礎地図学および実習Ⅱ	〈学科基礎科目〉 ◦地理学基礎セミナー ◦フィールドワークⅠ	〈学科基礎科目〉 ◦地理学セミナーⅠ ◦地理学セミナーⅡ ◦フィールドワークⅡ	〈学科基礎科目〉 ◦地理学セミナーⅢ ◦地理学セミナーⅣ ◦卒業研究
選択必修科目		〈学科基礎科目〉 ◦地域調査法1（地形）　◦地域調査法2（水文）　◦地域調査法3（防災）　◦地域調査法4（観光）　◦地域調査法5（交通） ◦地域調査法6（都市）　◦地域調査法7（まちづくり）　◦地域調査法8（海外）　◦地域調査法9（地理教育） ◦地域調査法10（自然地理）		
選択科目	〈学科基礎科目〉 ◦人文地理学概論　◦自然地理学概論　◦日本地誌　◦アジア・オセアニア地誌　◦ヨーロッパ・アフリカ地誌　◦南北アメリカ地誌　◦地理基礎巡検 〈学部共通科目〉 ◦風土と人間生活　◦都市のアメニティ　◦地図と測量の科学　◦マップリーディング　◦地球の資源とエネルギー　◦地球の構造と進化　◦自然災害のメカニズム ◦地球環境システム論　◦生活環境の科学　◦情報社会と倫理　◦環境経済学　◦ジオインフォマチックス			
		〈学科専門基礎科目〉 ◦デジタル地図の基礎 ◦地理情報科学の基礎 ◦地域データ分析法 ◦地域自然情報の活用	〈学科専門発展科目〉 ◦都市地理学　◦農業地理学 ◦工業地理学　◦交通地理学 ◦観光地理学　◦歴史地理学 ◦地形学　◦気候学 ◦水文学　◦自然計測実習 ◦地域文化論　◦地域と民俗 ◦首都圏の環境と生活	〈学科専門実践科目〉 ◦地図画像処理論および実習 ◦写真判読法および実習 ◦地図表現と地図作成 ◦海外調査法およびフィールドワーク1・2・3 〈学部共通科目〉 ◦測量学および実習　◦測量学実践実習 ◦環境保全活動実験
			〈学科専門発展科目〉 ◦都市と地域の計画　◦人口と地域 ◦地域景観の保全と復原　◦流通地域論 ◦人間活動と土地利用 ◦地域開発と環境問題 ◦観光資源とまちづくり　◦自然災害と地域 ◦災害・防災地図の作成と利用 ◦自然公園とエコツーリズム ◦自然環境とまちづくり　◦地域の自然誌 ◦地域研究1（アメリカ） ◦地域研究2（ドイツ） ◦地域研究3（イギリス） ◦地域研究4（オーストラリア） ◦地域研究5（フィリピン） ◦地域研究6（沖縄）	〈学科専門実践科目〉 ◦地理情報システム論および実習 ◦地理情報システムの応用および実習 ◦社会科・地理歴史教育論Ⅰ ◦社会科・地理歴史教育論Ⅱ ◦社会科教育論Ⅰ ◦社会科教育論Ⅱ 〈学部共通科目〉 ◦熱帯圏の環境 ◦氷雪圏の環境 ◦乾燥圏の環境 ◦環境関係法規 ◦地域環境行政

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。
※カリキュラムは変更される場合があります。

Focus on 科目

海外調査法およびフィールドワーク1・2・3

広い視野の修得や、異文化理解を目的に、海外でフィールドワークを行います。世界の諸地域で、地誌科目等の講義で学んだ事例やその背景を海外での現地調査をとおして検証します。

観光資源とまちづくり

地域資源を活用した魅力あるまちづくりについて考えます。授業では具体例をもとに、地形や気候、町並みや景観、産業遺産といった多彩な地域資源を取り上げます。

災害・防災地図の作成と利用

防災のための地図・ハザードマップについて、地図の作成過程を理解。さまざまな自然現象の特性を学ぶとともに、実際に資料やデータから簡易なマップを作成します。

時間割モデル

[3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2	地形学	地理情報システム論および実習		観光資源とまちづくり	都市と地域の計画	
3			測量学実践実習		交通地理学	
4	地理学セミナーⅡ	災害・防災地図の作成と利用		地域研究5（フィリピンから見える世界）		
5						
6						
7						

卒業論文テーマ

- 滑川町の観光振興の現状と課題
- 鹿島神宮門前町の衰退とその課題
- 新潟県長岡市における雪を活かしたまちづくり
- 熊本県南関町における耕作放棄地の拡大とその要因
- 茨城県神栖町における掘り下げ田の現状と保全
- 新潟県十日町における素掘り隧道マブに関する研究
- 等々力渓谷におけるクールアイランド現象に関する研究
- 新潟県出雲崎地域における表層崩壊拡大の実態
- 蕨駅周辺におけるエスニック集団の就業形態
- 東京都世田谷区烏山地域における寺町の空間変化
- 東京都における総合型スポーツクラブの発展とその課題
- 秩父鉄道SLパレオエクスプレスの車内イベントからみた鉄道観光化の地域的拡大　ほか

学科で身につく力　FUTURE

総合的な調査・分析力を修得し現代の地域問題と向き合う

総合的な調査・分析力

人文地理学と自然地理学、地誌学を融合させ、総合的な調査・分析によって地域問題の解決策を見出す力を育みます。

実践で培う幅広い能力

地形形測や水質調査、土地利用や聞き取り調査を行うフィールドワークをとおして、観察眼、洞察力、行動力、課題発見能力、問題解決能力を磨きます。

資格を取得し専門職をめざす

資格関連科目をはじめとして課外での「国内旅行業務取扱管理者」講座[*1]や、「総合旅行業務取扱管理者」講座[*2]、「国内旅程管理主任者（ツアーコンダクター）」講座、教員採用試験対策講座等を受講し、専門職をめざすことができます。

*1 合格率50.0%［全国平均（2021）40.9%］
*2 合格率30.0%［全国平均（2021）6.2%］

進路・将来像

中学校社会科教諭／高等学校地理歴史科教諭／官公庁／各種公務員／地図・地理情報システム関連事業／測量関連企業／不動産・建築・建設関連企業／観光・旅行関連企業／鉄道・運輸・流通関連企業／環境・都市計画関連企業／衛星データ解析関連企業／コンピュータ関連企業／民間企業全般／土地家屋調査士／社会教育主事／博物館学芸員／大学院進学　等

詳しくはP.133へ

免許・資格

【不動産・測量専門職】
測量士[*1]
測量士補
技術士[*1]
技術士補[*1]
土地家屋調査士[*1]
不動産鑑定士[*1]

【旅行専門職】
総合旅行業務取扱管理者[*1]
国内旅行業務取扱管理者[*1]
国内旅程管理主任者[*1]

【教員免許】
中学校教諭一種免許状（社会）
高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
学校図書館司書教諭

【行政職】
社会教育主事（任用資格）
社会福祉主事（任用資格）

【その他】
博物館学芸員（任用資格）
GIS学術士（認定資格）
情報処理技術者[*1]
地域調査士（認定資格）
図書館司書

*1 は資格・検定試験に合格する必要があります。

詳しくはP.052～P.055へ

アクセス・交通

熊谷キャンパス

在学生はバス料金無料

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700

▶熊谷駅よりバス10分
- 熊谷駅［JR高崎線、新幹線、秩父鉄道］
- 南口よりバス「立正大学」行
  または「森林公園駅」行、「立正大学」下車

▶森林公園駅よりバス12分
- 森林公園駅［東武東上線］
- 北口よりバス「立正大学」行
  または「熊谷駅南口」行、「立正大学」下車



品川キャンパス

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

▶大崎駅、五反田駅から徒歩5分
- 大崎駅（JR山手線、湘南新宿ライン、埼京線、りんかい線）
- 五反田駅（JR山手線、都営地下鉄浅草線）

▶大崎広小路駅（東急池上線）から徒歩1分

▶不動前駅（東急目黒線）から徒歩13分

大崎駅・熊谷駅間はJR湘南新宿ライン直通72分です。

品川キャンパス

渋谷	▶JR山手線7分		
下北沢	▶渋谷経由 京王井の頭線・JR山手線16分	五反田	徒歩5分▶
押上	▶都営浅草線27分		
大宮	▶JR埼京線または JR湘南新宿ライン特別快速40分		
東京	▶JR山手線13分		
横浜	▶JR湘南新宿ライン快速19分		
千葉	▶品川経由 JR総武線快速・JR山手線51分	大崎	徒歩5分▶
新木場	▶りんかい線18分		
つくば	▶秋葉原経由つくばエクスプレス快速・JR山手線70分		
土浦	▶品川経由 JR常磐線特別快速・JR山手線76分		
自由が丘	▶旗の台経由 東急大井町線・池上線12分	大崎広小路	徒歩1分▶
日吉	▶東急目黒線21分	不動前	徒歩13分▶
王子神谷	▶地下鉄南北線・東急目黒線40分		

熊谷キャンパス

上野	▶JR高崎線快速54分		
池袋	▶JR湘南新宿ライン特別快速56分	熊谷	バス10分▶
大宮	▶JR高崎線通勤快速26分		
高崎	▶JR高崎線38分		
池袋	▶東武東上線57分		
所沢	▶川越市経由 西武新宿線・東武東上線48分	森林公園	バス12分▶
西国分寺	▶朝霞台経由 JR武蔵野線・東武東上線62分		
川越	▶東武東上線21分		

※時間表記は最短乗車時間です。

立正大学
RISSHO UNIVERSITY

〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16
TEL. 03-3492-6649
FAX. 03-5487-3347
E-mail：exa@ris.ac.jp

150th RISSHO
2022年開校150周年

資料請求｜◉学部別パンフレット◉入学試験要項(願書)◉講義案内◉入学試験問題集 等

入試センターに電話・FAXで請求
TEL.03-3492-6649［入試センター直通］ 日曜日・祝日を除く 10：00～16：00
FAX.03-5487-3347 ※長期休暇中については公式サイトをご確認ください。

公式サイトから資料請求
https://entry.s-axol.jp/ris/?ef=1

www.ris.ac.jp/

Facebook

LINE
資料請求および最新情報を
配信しています。

Twitter